



月刊 千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

※ 電話番号は4月29日から変更になります

92.5.1 No. 3583

闘う労働運動の真価を示そう！

夏季物販の成功へ

けん引しよう！

メーデーは、かつて世

界の労働者がスクラムを

組んだ闘いの日であった。

魂を忘れ、闘いを忘れ

たメーデーは、抜けがら

にすぎない。

メーデーの歴史を考え

るとき、われわれは「こ

れでいいのか」と今一

度問い直さなければなら

ない。

「景気後退」が宣言さ

れ、超低率に抑えこまれ

た九二春闘、時間外労働

拒否の解雇を妥当とした

るではないか！

世界的経済破綻は、「

輸出立国」である日本経

済を直撃することは必至

であり、大合理化と出向

―首切りへと直結し、P

KO法案―自衛隊海外派

兵に見られるように、い

つか来た道を進むように

している動向など、労働運

動の担うべき責務はあま

りにも大きい。

一方で日本労働運動を

めぐる状況は、来年三月

にも総評センターの解散

と言つように、「連合」

へと収れんされようとし

ているのが現実である。

しかし見せかけの「時

短」を歓迎し、天皇賛美、

PKO容認、資本・当局

の傘下に労働者階級を組

み込もうとする「連合」

に、労働者の未来を託す

わけにはいかないのだ。

現場労働者の

怒りが状況を

変える。

しかし九二春闘におい

て、一一年ぶりに私鉄が

ストに突入したように、

現場労働者の怒りは沸点

に達しようとしている。

た闘いの歴史と比べる

もない！

「メーデー

とは

闘いの

日だ」

メーデーとは闘いの日

なのだ。

一八八六年の五月一日

にアメリカの労働組合が

八時間労働を要求して行

ったゼネストと、この闘

いへの流血の弾圧がきつ

かけとなり、それを記念

し、第一回国際メーデー

闘う

労働運動の

旗手と

なろう。

われわれは、日本労働

運動の再生の突破口とな

る、清算事業団闘争を担

い抜き、「JR体制」に連

合による暗黒の職場支配に抗

して、反合・運転保安闘

争の旗を高く掲げ、闘う

労働の再建をストライキ

を通して示し抜いてきた

闘う千葉の真価こそ、

こうした一切の状況を転

闘う

労働運動の

旗手と

なろう。

われわれは、日本労働

運動の再生の突破口とな

る、清算事業団闘争を担

い抜き、「JR体制」に連

合による暗黒の職場支配に抗

して、反合・運転保安闘

争の旗を高く掲げ、闘う

労働の再建をストライキ

を通して示し抜いてきた

闘う千葉の真価こそ、

こうした一切の状況を転

反戦・反核を担う労働運動を！